

2005 年度地区米山奨学生選考試験にあたって

2005 年度の米山奨学生新規採用面接試験は 2 月 6 日(日)泉大津のテクスピア大阪で開かれました。当日は、早朝 8 時 30 分集合で、大丸カウンセラー、瀬戸、楠、大澤、亀岡、水田、小島パストガバナー、平尾ガバナーエレクト、河合、松下地区委員長の 10 名が試験官を務めました。また、地区役員、地区委員、次年度地区委員、ガバナー事務所の職員さんも諸般のお世話で参加を頂きました。

2005 年度は地区内各大学よりの推薦応募者は 35 名でしたが、無資格取消 1 名、就職のため直前取りやめ 1 名、面接試験後他国留学のため取りやめ 1 名があり、最終合計 32 名で、内 21 名の新規採用となります。

試験開始前 8 時 30 分より地区米山委員長の河合、松下より選考試験についての説明があり、午前、午後の学生たちは緊張した真剣な態度で面接を受け、試験官は聞き入りました。

2005 年度は面接時間は 1 人約 10 分で、米山奨学生の主な選考基準(学業、異文化理解、コミュニケーション能力、地域交流ボランティア活動)の 4 つの柱と、留学生の家族状況、研究計画書、担当教官の推薦書、小論文等で判断して頂きました。

本年度も各大学からの推薦は圧倒的に中国留学生が多く、選考に苦慮する結果となり、中国の学生は競争が厳しくなりました。

これからは米山奨学会の意向を各大学に説明し、一国 50%を越えないように努めなければなりません。

試験の成績については、ロータリー米山奨学会に送付、3 月早々に各大学に合否を通知し、学生に知らされます。(3 月中に地区内各クラブに新しく世話クラブカウンセラーをお願い致しますので、その節はよろしくお願ひします。)

地区米山奨学会選考委員長
松下光春